

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①「主体的・対話的で深い学び」「ICTを活用した授業」等のさらなる推進を通じ、ラーニング・コンパスを意識した教育活動に取り組む。 ②グローバル教育等を充実させ、将来世界を舞台に活躍するリーダーを育成する。	①「主体的・対話的で深い学び」「ICTを活用した授業」を組織的に推進し、学習効果について検証するとともに、適正な評価につなげる。 ②グローバル教育等を通じて、日本や他国の文化についての理解を深めるとともに、コミュニケーション力と世界規模で物事を考える力を育む。	① アクティブ・ラーニングやICT機器を効果的に活用した授業を推進し、主体的に学びに取り組む姿勢を育成する。 ②総合的な探究の時間やグローバル教育を充実させ幅広い視点に立ったものの見方や考え方を育成する。	①すべての教員が「主体的・対話的で深い学び」「ICTを活用した授業」を意識した授業づくりを行い、適切な評価を行っていく。 ②総合的な探究の時間や英検受験、海外研修旅行の取組みを充実させていく。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	①多様性を認め合い、主体的に行動しながら支え合い助け合っていく力を育成する。 ②生徒と信頼関係を深めながら規範意識を醸成するとともに、生徒のウェルビーイングを高めるための支援に取り組む。	①生徒が自ら企画・運営を行う学校行事を確立させる等、生徒の主体的な活動を促進させ、豊かな社会性やリーダーシップを育む。 ②日々の生活指導や交通安全指導等を通じ規範意識を高めるとともに、生徒個々の課題改善に向け組織的に取り組む。	①生徒が学校行事や部活動を主体的に計画し、他者への尊重や協調を重視しながら充実した学校生活を送れるよう支援する。 ②交通安全街頭指導や講演会を通じて、法律を理解すると共に事故を起こさないための知識・認識を高める。	①学校行事、部活動において、生徒が主体的に取り組むことができたか。また、他者を尊重し協調することができたか。 ②登下校における事故件数の減少と近隣からのマナーに関する苦情等が減少しているか。 街頭指導以外の時もルールを守れているか。					
3	進路指導・支援	①系統的・計画的なキャリア教育を充実させ、生徒に将来の夢や職業観を持たせる。 ②生徒それぞれが希望する進路の実現に向け、組織的・系統的な進路指導・支援に取り組む。	①キャリア教育をよりいっそう充実させ、職業に対する理解促進と職業観を育成する。 ②進路データの分析に基づく個別の進路指導を進め、希望する進路実現に向け組織的に支援する。	①総合的な探究の時間において、キャリア教育を系統的・計画的に行うとともに、進路イベント等を通じて生徒に将来のビジョンや職業観をもたせる。 ②模試等の外部試験を計画的に実施し、進路実現に向けた高い意識を生徒にもたせるとともに	①総合的な探究の時間におけるキャリア教育を系統的・計画的に行うことができたか。進路イベント等を通して生徒に将来のビジョンや職業観をもたせることができたか。 ②模試の平均点が上昇したか。得点率の低い課題を共有し、組織的な課題改善等につなげるとともに					

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				に、結果の分析をもとにした組織的な課題改善を推進する。	に、進路希望調査をもとにした面談等により進路実現にむけた意識を生徒にもたせることができたか。				
4 地域等との協働	<p>①地域の教育力を活用した学びの拡充をさらに推進し、多種多様な生徒の教育ニーズに対応していく。</p> <p>②本校の魅力と特色等について外部に積極的に情報発信するとともに、地域交流、地域貢献を促進させる。</p>	<p>①既存の高大連携校との連携をさらに深めるとともに、高大連携校の新規開拓を行い、学びの場のさらなる拡充を図る。</p> <p>②学校ホームページ等を活用し本校の教育活動等について外部に積極的に情報発信するとともに、地域と密接に関わりながら地域教育力の中核的な役割を果たす。</p>	<p>①高大連携講座や出前授業等を通して高大連携校との連携をさらに深めるとともに、生徒の進路実現に向け、連携校の新規開拓を行う。</p> <p>②各担当グループへ積極的な呼びかけにより、学校ホームページを適切に更新する。</p>	<p>①高大連携講座や出前授業等を通して生徒の学びの場の拡充ができたか。</p> <p>②各担当グループに対し、年度当初や行事等の節目となる時期に学校ホームページの更新を依頼したか。</p> <p>②本校における学校ホームページの管理・更新に係るマニュアルを周知して、活発に更新されるような方策をとったか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>①すべての教員がスクールポリシーに則った教育活動に取り組み、支え合い助け合い文化を職場に築きながら協働体制を確立する。</p> <p>②働き方改革をより一層進めるとともに、不祥事防止に努め県民から信頼される学校づくりに推進する。</p>	<p>①教員間で、「何を学ばせるか」「どんな力を身に付けさせたいか」等について共通理解を図ることにより足並みを揃え、全職員で協力しながら日々の教育活動に取り組む。</p> <p>②業務の無理や無駄を洗い出し、積極的な業務改善を図りながら働き方改革を進める。</p> <p>不祥事防止に向けた研修等をさらに充実させ、生徒、保護者、県民から信頼される学校を創る。</p>	<p>①教員一人一人がスクールポリシーを理解し、教科・学年・グループと様々な場面において職員間で業務の共有や教育活動に関する議論を積極的に行う。</p> <p>②年間の企画会議・職員会議の年度当初の日程設定、グループ・学年の会議の回数削減、勤務時間を越えての会議延長の廃止、業務分担の改善を徹底していく。また、不祥事防止研修を中心として組織的な取組みを強化し、職員一人一人の当事者意識のさらなる向上に努める。</p>	<p>①スクールポリシーに沿った教育活動に関して教員間で議論し、協働意識を持つことができたか。</p> <p>②会議の減少や効率を図ることで、業務改善を行うことができたか。また、職員一人一人が当事者意識を持ち不祥事防止に取り組み、生徒・保護者・県民からの信頼を得られる学校づくりを推進できたか。</p>					

